

アグリ筑西

2019 5月号



寒暖の差が大きい季節ですが、お身体に気を付けて作業しましょう！

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

イネ縞葉枯病の多発生が懸念されます！

茨城県病害虫防除所よりイネ縞葉枯病の病害虫発生予察注意報が発表されました。それによると筑西普及センター管内のいずれの地点においても水田畦畔で越冬するヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率が5%以上の高い値であったため、今年の水稲でも本病の多発生が予想されます(表)。イネ縞葉枯病ウイルスを媒介するヒメトビウンカを防除するため、育苗箱施薬剤を処理しましょう。イネ縞葉枯病の被害を軽減するために、地域が一体となった防除の取り組みをお願いいたします。

表 ヒメトビウンカ越冬世代幼虫のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率

市	字	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
筑西市	久地楽	27.1	34.0	24.5	19.7
筑西市	二木成	34.6	36.2	35.1	24.5
桜川市	加茂部	5.9	3.7	1.1	7.4
桜川市	真壁町白井	10.1	22.9	14.9	8.5
下妻市	大園木	29.3	31.4	33.0	18.0
下妻市	大宝	30.9	37.2	24.5	26.6

※平成31年3月22日茨城県病害虫防除所発表 病害虫発生予察注意報第5号より抜粋

なし「恵水」摘果のポイント

「恵水」は大玉になるほど糖度が安定して高くなりますが、14玉(3Lサイズ)以下の果実では、糖度の低い果実の発生割合が高くなります。

「恵水」は大玉になる品種ですが、適期に適度な摘果を行わないと、本来の品種特性を発揮することができません。しかし、あまり急いで摘果すると、裂果を助長したり、果形が乱れるおそれがあるため、「急ぎすぎず、でも遅れず、果形をよく見て摘果」を合言葉に摘果しましょう。また、「恵水」は果軸が短いため、棚線や幹・枝に当たりやすいため、摘果の際にはできるだけ果軸が長いものを選び、棚線等も考慮するようにしましょう。



図 摘果で残す果実
(軸が長く、果形が良い)

表 「恵水」の摘果方法

内容	時期	摘果方法
予備摘果	満開後30~40日	1果そう1果
仕上げ摘果	満開後60日以内	3果そう1果
最終目標着果	満開後60日頃	側枝1mあたり6果

ハウス軟白ネギ生育順調

桜川市真壁町谷貝地区にて、昨年からこだまスイカの生産者2名が、5～6月出荷のハウス軟白ネギの栽培に取り組んでいます。

ハウス軟白ネギは、ハウスに定植し、収穫終盤にネギを光の通さないマルチフィルム等で覆う栽培です。白身が長く柔らかいのが特徴で、辛みも抑えられるので生でそのまま食べられ、通常のネギより高単価で販売されています。今年は昨年より3アールほど面積を増やし、増産を図ると共に、産地での適性品種の検討を行っています。

こだまスイカの作業の合間に出荷ができる輪作作物として、軟白ネギは定着しつつあるようです。



今年度も農業学園を開催します！！

当普及センターでは、主に就農して間もない方を対象に、農業の基礎知識・技術や先進事例を学ぶ「農業学園」を開催しています。今年度も、農業や土づくり等に関する基礎的な講座に加え、先進農家視察、ICT技術、機械整備を学ぶ講座も計画しています。10回程程度の講座を予定しており、農業を学ぶだけでなく、同年代の人との交流や情報交換をする良いきっかけにもなります。

農業学園でみんなと楽しく学んでみませんか？皆さんの参加をお待ちしています！

詳細は普及センター（担当：米倉，安藤）までお問い合わせください。



昨年度の講座の様子

H31年度経営・普及部門（普及センター）新体制について

部門長 滑川裕之☆

☆印は今年度赴任した職員

経営課 (全域担当)

課長 野口敬命(野菜)
主査 矢部高志(作物)
主任 須藤 立(畜産)
主任 米倉 茜(経営)☆
主任 嶋川真理子 育休
(アグリビジネス)

地域普及第一課 (筑西市担当)

課長 宮城海代子☆
(アグリビジネス)
専門員 興津正一(作物)
専門員 檜山佳子(果樹)
技師 津坂早織(野菜)
嘱託 増山 弘

地域普及第二課 (桜川市担当)

課長 山崎和幸(野菜)
専門員 袴塚紀代美(野菜)
専門員 毛利直子(花き)☆
主任 齊藤賀一(作物)
技師 今瀬諒司(野菜)
嘱託 鈴木宏往

地域普及第三課 (下妻市担当)

課長 相田次郎(経営)☆
専門員 西村撰(作物)☆
主任 椎葉岳彦(果樹)
技師 安藤美咲(一)
嘱託 佐藤元子

普及員のひとりごと ～ 安藤美咲～

新規採用職員として、4月から筑西普及センターに配属されました安藤です。茨城県出身ですが、他県で進学・就職し、約10年ぶりに茨城県に戻ってきました。仕事内容や地域のことなどわからないことも多いですが、早くみなさまのお役に立てるよう頑張ります。

アグリ筑西の編集も担当しています。掲載してほしい情報をお持ちの方は、安藤までお問い合わせください。

今年度はこのメンバーで頑張ります。よろしくお願いいたします。

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。